



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

REGION ワイズメンズクラブ国際協会西日本区
JAPAN WEST

京都部



京都部 部報

Bulliten 2011-2012 年度 第3号 2012. 7 発行

京都部部長主題 志を共有し、小さな1歩大きな前進 =思いやりと感謝の気持で粘り強く=

西日本区理事主題 ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献
"Contribute to the Community through Active Services with Love"
副題 理想を目指して変革と行動！
"Change Ourselves and Take Actions toward Our Lofty Goal"
国際会長主題 "Audere est Facere - To dare is to do"
「とにかくやろう - 成せば成る」
アジア地域会長主題 "To dare is to do" 「とにかくやろう - 成せば成る」
スローガン "Mission with Faith" 「信念をもって使命をはたそう」

『この1年、京都部の皆様に感謝』

京都部部長 前 登 (第16代)

(京都みやびワイズメンズクラブ)



まず京都部の全メンバーの皆様に、あらためまして今年1年のお礼と感謝を申し上げます。

昨年に部長職をスタートして早1年が過ぎました。その間私もキャビネットや役員の皆を支えていただき、暖かい言葉をかけていただきました京都のワイズメンバーにあらためて感謝するしだいであります。おかげさまをもちまして大きな事故やトラブルもなく、事業の際には天候にも恵まれ、すべての行事を完了することができました。東日本大震災への支援でも、皆様の暖かいご協力や励ましのもと、ワイズ活動ができたことの喜びを実感いたしました。

たしかに部長職は外から眺めている場合とは大きく違い、思いもかけず戸惑うことも多々ありました。西日本区役員としての責務は当然ありますが、部の長として京都部の役員や各クラブの会長を含めたメンバー全員と接していかななくてはなりません。クラブの会長とはまったく違った一面を痛感もいたしました。特に京都部は西日本区でも一番大きな部であり、その牽引役としてのプレッシャーも少なくはありません。当初の例会訪問時には、「中間管理職の気分です」と述べたこともありましたが、それでもワイズの皆様には、その時々になぐさの言葉をかけていただき、又再度元気をもらうようなことも少なくはありませんでした。ワイズメンメネットの皆様にあらためて感謝です。

私もこの1年「志を共有し、小さな1歩大きな前進」との標語のもとに活動して、結局何も満足にはできま

せんでしたが、まわりの皆様に支えられながらも、なぜか1歩だけは前進することができたかなと感じております。ワイズは職務が人を作るとよく言われますが、「メンバーとのコミュニケーションを大切にして、何事も前向きに取り組み親睦を深めることができれば、多少の考え方の違いを乗り越えて物事は必ず前進する！」ことをまた1つ強く教えられた気が致します。

今後、皆様もワイズ活動をいっそう大切にしてください。そしてすばらしいワイズメンの世界を実感していただければ幸いです。



▷▷▷▷今 期 を 振 り 返 る◁◁◁◁



京都部 次期部長 船木 順司

(京都トップスクラブ)

第16期京都部前登部長の下、一年間次期部長として役員的一端を担わせて頂いた事に心より感謝申し上げます。この一年間、前部長の思いやりに満ち溢れた心に触れ、キャビネットの皆様の顕微鏡を覗くかのようなチェック作業には脱帽です。役員の皆様で前部長を盛り上げ、少しでも京都部を発展させたいと思う気持ちたちが何となく心地よく感じた一年でした。

私はと言うと、京都部を把握する為に脳内はフル稼働状態の一年でした。一クラブメンバーとして京都部を眺めていた景色と、京都部役員として眺めた景色の違いに、驚きと新鮮さを、次期へのモチベーションを素直に高める事が出来ました。部の役員としての役目を果たせたかどうかは・・・ですが、部の運営に携われた事はワイズメンとして大きなスキルアップに成りました。部運営を担った先人たちが、部の各クラブメンバーが築いた京都部が益々繁栄する様リーダーシップを発揮して行きたいと思います。

改めまして前部長はじめキャビネットの皆様、そして役員の皆様一年間ご苦勞様でした。皆様と部役員として活動出来た事を心より感謝いたします。ワイズリー！



京都部 監事 山中 将平

(京都洛中クラブ)

前登部長、役員の皆様、本当にご苦勞様でした。私は次期部長時から4年間京都部に携わり、多くを学び、また感じました。この間共通して感じたことは、どの年度の部役員も部や各クラブ、西日本区の為に懸命に努力されている姿です。しかし、二人の部長経験者を除き、部役員、各クラブ会長が入れ替わり、その流れを継続することの難しさも痛感しました。区、部、クラブは基本方針や事業を引き継ぎつつ、状況や環境、その年度の特徴を出す等により年々変化していきます。その変化をどう捉え、どう対応していくかを冷静に判断し、より良い部の運営ができるようアドバイスするのが直前部長、監事の役目だと思いました。部は区と各クラブの中間組織であり、両者のパイプ役として部全体の活性化を図るため活動していますが、その活動をメンバー一人ひとりまで理解を得ることの難しさも感じました。今年度は私のメネットがメネット事業主査を拝命し、部の役員会や行事等一緒に参加し、例年の監事と違い、メネットの動きにヒヤヒヤしながら、緊張感を持って役目を終えました。



京都部 直前部長 阪田 民明

(京都グローバルクラブ)

今期の部長標語『志を共有し、小さな歩大きな前進』思いやりと感謝の気持ちで粘り強く・・・この主題でスタートされました前登部長、三役、事務局長、主査の皆様、本当に御苦勞様でした。

今期は新しい企画として、福知山で部会を開催されました。福知山クラブの皆さんの御協力ですべて素晴らしい部会となり、多くのメンバーが感動いたしました。また部費値上げ時期の問題も積極的に議論をされ、本当に粘り強く運ばれた結果、問題も起こらず、無事に終わられた事に感心いたしました。

また、西日本最大の部として様々な業績を上げられた事も、各主査様の努力と全クラブメンバーの協力と感謝致します。西日本区大会においては、京都パレスクラブの理事表彰での最優秀クラブをはじめ、多くのクラブが賞を受賞された事も、この一年の活躍を象徴しているのではないのでしょうか。

この一年、部役員の一員として部運営に関わり、多くのメンバーとの出会い楽しめた事に、心より感謝申し上げます。本当に有難う御座いました。



京都YMCA統括連絡主事
加藤俊明

2011 年～2012 年前部長の京都部も終わろうとしています。

今期は京都YMCAにとって大きな変化がありました。昨年10月に財団法人から公益財団法人に移行し、事業としては同じ事業を継続しており外見上の変化は見えないのですが、法人の組織としては新しい姿でスタートしました。

それに伴い京都YMCAでは会員の定義を変更し、会員制度を大幅に変更しております。

京都部も近年、財政的な問題でチャレンジを受けています。これにどう対応し課題をどう乗り越えるか、部の役員が皆で知恵を絞った期でありました。京都部会も新しい取り組みの中で行われました。京都YMCAも京都部も新しい状況に合わせて変化を求められた1年だったのではないのでしょうか。

前部長をはじめ役員の皆様ご苦勞様でした。

▷▷▷▷今 期 を 振 り 返 る◁◁◁◁



YMCA サービス・ユース事業主査

伊藤 剛 (京都トゥービークラブ)

この一年間、Yサ・ユース事業に協力頂きました全ての皆様に、この場を借りてお礼申し上げます。「良きパートナーシップの確立を目指して！」を主題に活動してまいりました。

YY フォーラムでは、京都 YMCA が行うグローバル・コミュニティスタディプログラムに派遣されたリーダーの報告、また、京都 YMCA ボランティアビューロ登録グループ（ワイワイネット・聴覚障がい児プログラム研究会マイマイ）の活動紹介と、京都 YMCA の東日本大震災被災者支援活動報告が行われ、お互いを知る良い機会になったのではないのでしょうか。また、チャリティーランにおきましても協賛金やボランティアスタッフなどご協力頂き誠にありがとうございました。今回の経験を次期にもいかしたいと思います。

私自身、Yサ主査という立場を頂き、本当に多くの新たな出会いのある一年でありました。不安いっぱいスタートでしたが、そうした皆様に支えられ職務を終えられましたことを改めて感謝いたします。

一年間ありがとうございました。



EMC事業主査 萩原 隆人

(京都グローバルクラブ)

今年も各クラブではメンバー親睦の例会やゲスト参加の例会、他クラブとの合同例会、新規メンバー向けの研修会やオリエンテーション等々それぞれが創意工夫し素晴らしい例会をされています。また京都部主催の7月の懇親会には京都部全18クラブ71名が参加、1月のシンポジウムには浅岡理事を迎え14クラブ52名に参加していただきました。

そして3月には念願の500名を突破することができたのは、京都部各クラブがメンバー増強を強く意識して活動されている表れだと思います。

主査として活動することで多くの事を勉強させていただき、多くの方と知り合えた事は私にとって有意義な1年でした。京都部がこれからもさらに発展していきますよう、今期できなかった事や残した事を含め次期に託したいと思います。

京都部会長、委員長の皆様にはメンバー増強やノンドロップのお願い、そして毎月の集計表や調査表の提出など大変お世話になりました。1年間ありがとうございました。



地域奉仕・環境事業主査 堤 雄次

(京都パレスクラブ)

前部長及び京都部役員の方々、そして各クラブ会長、委員長のご協力に感謝申し上げます。

今期がはじまるまでに、早くも主任より、CS活動のアンケート依頼、回収から始まりました、研修会でもう少し遅らして欲しいと、文句を言いましたが、賛同者もなく、実施しましたところ、京都部のほぼ全てのクラブより回答があり、素晴らしい。さすが、との思いで次に行なったのが、ワイズデーに準ずる行事と今期捉えた、YMCAも事務局として協力をしていました初開催となるエイズ文化フォーラム in 京都のお手伝い。初めてのことで、こんなもんかと、甘い採点(笑)。1月になると、めいぶるクラブに協力していただいて、チャリティーボウリングが盛大に開催され、ロールバックマラリアに多くの献金ができました。2月の京都知的障害者福祉施設協議会が開催するクラシックコンサートの集いは、甘い採点となりましたが、何とか無事に遂行できました。ありがとうございました。



ファンド事業主 吉田 忠文

(京都センチュリークラブ)

「初心忘るべからず」を今期主題として BF における使用済み切手の収集は「無から有」を生むファンド事業の原点であり、国際に於けるワイズ共通の活動であることの基本理念に帰ってスタートしました。しかし最終的には西日本区で京都部のBFポイント実績こそトップでしたが、使用済み切手の換金クラブは4クラブに留まり力量不足を痛感しております。メールやファックスで切手の使用は減少し、その膨大なエネルギーに比べ換金額が送料を下回る現実は経済効率から見ても不合理ではあります。しかし一方で着実に実績を残しているクラブもあり、BFに対するクラブの考え方や重要性の認識の温度差が数字に表れていると思います。

BF 代表については最近五年京都部から応募のないことも気になります。代表受け入れに対しては TC や一部の部やクラブ負担にならない配慮と早い時期でのスケジュール通知など計画的に遂行できるよう求めたいと思います。

クラブファンドについては、各クラブ委員長の報告を拝見して、じゃが芋だけでなく様々な商品展開、共同購入やファンド協力が始まり、チャリティー例会などの新企画等の新しい展開が見られます。ファンド収益の使途については、京都部のほとんどのクラブがYサや地域奉仕などの奉仕活動のために活用されており、ファンドの充実がクラブの活性化に大きく寄与していることが感じられました。

▷▷▷▷今 期 を 振 り 返 る◁◁◁◁



交流事業主査 今村 隆宏

(京都ウィングクラブ)

交流事業主査としての主題を『思いやりをカタチに』として、いろんな関わりに対して思いやりをもち、行動に移していこうとお願いを致しました。各クラブからは大変素晴らしい IBC、DBC 交流の報告を頂きました。ウエストクラブの HEXAGON DBC による東日本大震災被災地慰霊の旅で現地視察、YMCA の働きを実感された事。ウィングクラブは IBC 締結先の韓国金浦クラブのキムチ漬け事業をサポートされ寄贈先の施設へ配送。その働きが現地の新聞に報道された事。京都クラブは南大邸クラブとの、IBC 締結 30 周年記念例会を開催された事。そして、今期は素晴らしい IBC の締結が達成されました。パレスクラブの 40+1 周年記念例会にて、香港九龍クラブとの締結です。9 月と 5 月の 2 回開催した京都部交流懇親会では会長、委員長、ニューメンバーにも参加頂き、クラブを越えた温かい交流が出来たことに感謝致します。人との関わりを楽しむ！これが最高の財産になっていると確信させて頂きました！本当に楽しかった！！一年間本当にありがとうございました。



メネット事業主査 山中 真理子

(京都洛中クラブ)

西日本区大会も終わり、私のメネット事業主査の仕事もそろそろ終わりに近づいています。ホッとするような、少し淋しいような複雑な気持ちです。西日本区メネット事業の国内プロジェクトにはたくさんのワイズメン、メネットのご協力により多くの支援金を頂いて、大きく目標額を超えることができました。私が主査主題に掲げていた“メンと共に歩める喜び”は 500 名のワイズメンがいる中でどれだけのメネットさんが感じて頂いたでしょうか？この一年間でいえば私が一番“喜び”を感じていたことは間違いのないと思います。役員会、評議会、部の行事等への出席、部長公式訪問を含め、多くの場での慣れないスピーチと大変なことも多くありましたが、多くの人達と出会い、様々な経験をさせて頂き、本当に楽しい一年間でした。京都部合同メネット会へのご協力を含め、多くの皆様にお支え頂き、心より感謝致しております。一年間ありがとうございました。



広報事業主査 倉田 正昭

(京都クラブ)

「ワイズの役職は、向こうからやってくる」とよく言います。まだ会長をされたことのない方々には、会長など、いろいろな役職が今後まわって来ると思いますが、こちらの都合の良い時にやってくるとは限りません。ビジネスでも、こちらの都合が悪い時にこそ、チャンスがやってくると、その道で成功した人達は言っています。任期を終えた今、振り返ってみますと、あの時、何か自分自身にある機会が与えられたのかなと思います。

「ネットで広げよう 世界のワイズと…」というテーマで一年間広報事業主査を務めさせて頂き、2 回に及ぶ IT 勉強会と facebook 普及への波紋は、当初登録数がほんのわずかでしたが、今は京都部のページだけでも 90 名を超える登録者人数となり、その輪は現在も着実に広がっています。

ワイズや YMCA の IT 化は単なる一過性のものではなく、役立っ便利なツールとして、今後も私なりに取り組んで行きたいと思っています。今期一年間、みなさんありがとうございました。



京都部書記 森 泰弘

(京都みやびクラブ)

今期、書記として前部長の下、18 クラブからなる京都部役員として 1 年間職務を遂行してまいりましたが、前部長の精力的な働き、有澤事務局長の事務処理及び部報作成の負担には、感謝です。短い 1 年間でしたが、役員会、評議会、各行事、懇親会、部会等多くの方々と出会い、今までに無いさまざまな交流の機会を得ました。特に部会に於いては、福知山での開催であり福知山クラブとみやびクラブとの協力の下、多くのワイズメンの参加協力を得たことが印象です。更に、組織の体系、規定、運営、文書制度などにも直接触れられ、この貴重な体験を私の今後のワイズダム活動と生かして行きたいと思います。最後に何かとご迷惑をおかけしたことと思いますが、皆さまのご協力のおかげをもちまして無事役を終える事が出来ました事、感謝申し上げます。

▷▷▷▷今 期 を 振 り 返 る◁◁◁◁



京都部 事務局長 有澤 泰伸

(京都みやびクラブ)

まずはじめに、部役員の皆様並びにクラブ会長の皆様には一年間のご協力に対し、心より感謝申し上げます。慣れぬ事務局長職でご迷惑をお掛けしたところもあるかと思いますが、ワイズメンの友情に甘えさせて頂きます。終わってみるとあっという間の一年（実質一年半）でした。事務局として役員、会長への連絡（出欠確認、原稿依頼等）、評議会の資料作成、部報の発行（印刷1報、HP2報）等雑務的な職務が中心でしたが漸く終わるころになって慣れてきた次第です。もう一年引続きやれば完璧にこなすことができると自信過剰なくらいの思いはありますが、次期の方にお譲り致します(笑)。前部長を先頭に部役員の皆様と貴重な一年間を共に活動をさせて頂きましたが、この経験を今後の私自身のワイズ活動の糧とし、さらなる向上を目指して歩みたく思います。



京都部 会計 岡崎 保則

(京都みやびクラブ)

前々期の山中部長の下に続き今回

二回目の会計を務めさせて頂きました。

今期は前部長をはじめ事務局長有澤ワイズ、書記森ワイズと私とでみやびクラブから三役を務めさせて頂きました。前回にも増して各主査との交流を通じて新しい出会いができ、ワイズの輪を広げることができたように思います。これも私のこれからのワイズライフの宝物だと改めて思っております。京都部三役を二回も務めさせて頂き自分のクラブだけでなく大きな視点に立ってクラブ運営を考えるよい機会を多々与えられたと感謝しております。各クラブの皆様には部費納入をはじめ京都部の運営にご協力頂きまして誠に有難うございました。



京都ワイズメンズクラブ

会長 新井 美子

あっという間であったのか、ようやくというべきか、任期が終わろうとしています。とにかく今は次期会長に引き継ぐことができたという安堵感で一杯です。YMCA やワイズメンズクラブのこともよくわからないまま会長になりましたが、ようやく全体像が掴めてきた感じがします。

昨年の7月からスタートし、振り返ればたくさんの事業や活動がありました。四季折々の恒例の行事やクラブ内の活動は大変だということもありましたが、それ以上に楽しかったなと思います。時間をやりくりしての参加は、より一層充実が増すのかもしれない。

後半期は、一つ一つの任務をこなしながらも楽しむ余裕ができてきたように思います。又、会長主題である“いきいきとあたたかいワイズライフは仲間と共に”を実感できた期間でもあります。IBC 締結 30 周年記念例会での韓国、南大邱クラブとの交流もワイズ仲間は世界に広がっていると改めて認識しました。

京都クラブの仲間と共に取り組んだ一年間、奉仕の精神、行動すること、仲間との絆、たくさんのことを学びました。皆の支えと協力があつてこそでした。心から感謝します。本当にありがとうございました。



▷▷▷▷今 期 を 振 り 返 る◁◁◁◁



福知山ワイズメンズクラブ

会長 足立 長逸



京都パレスワイズメンズクラブ

会長 森田 美都子

- ◇ この1年、何と言っても「あなたに感謝」第16回京都部会を福知山市三段池総合体育館で、京都みやびクラブと共に、福知山クラブにとって39年振りにホストし、メン・メネット・コメット300名余りをお迎えできたことへの感動でした。運動会形式（ユニカール・バスケット・紙飛行機飛ばし・玉入れ・卓球など）の参加型の部会、大勢のメンバーが競技に熱中し、応援団も加わり、共に汗して交流の輪が広がり、福知山クラブは再生に向けて大きなパワーを貰ったのでした。
- ◇ 福知山YMCA会館所在地の2自治会（約700世帯）、12子ども会と共催の、第26回クリーン弘法川&魚つかみ・金魚すくい大会、川掃除には多数の京都府職員や金融機関職員のボランティアも加わる総員150名以上の混成組織をYMCAと共に全面主導し、一般市民も参加の第35回席上書き初め大会や第47回福知山市子ども大会で、250名からの利用者で賑った竹細工コーナーと絵本のひろばの分担事業など、少数メンバーで今期も地域社会に多くのプログラムを提供することができました。
- ◇ 例会のゲストスピーチは、夜久野の木と漆の館長の「丹波漆の生業」、江戸時代後期に、江戸で発刊された「丹州の孝子 芦田為助翁」13代当主の話、「小ザルのみわちゃんとウリ坊」日本松園長による映写など地方色のゲストで盛り上がりしました。
- ◇ 少数メンバーが、後半病気で1名減となったが、次期キックオフ例会で1名の入会式をすることになったし、期末になったもののEMC委員会は、入会候補者に対するオリエンテーション例会の案内発送先50名以上の名簿を確定し、具体的行動の成果の期待が近いところとなった。



期初に我パレスメンバーへ発した言葉は、……

「Enjoy（楽しむ）・Excite（刺激する）・Education（導き出す）3Eで充実する一そんなクラブライフ41期にしましょう。」それは期せずして会長職を任命された私自身へのクラブメンバーが与えてくれた一年後の価値ある言葉そのものとなりました。

ワイズメンにとって最も不可欠なる「親睦」を掲げて昨年から受け継いだ会員増強への弛まぬ活動。未曾有の大震災に余儀なく中止とした40周年行事を新生なゴロをもって引き継いだ「40プラス1周年記念例会」。

この二年の長きに亘るビジョンを何よりも今期の三役、そして各事業委員長、委員会のメンバーが心熱く目標を見定め、見事に完遂をしてくれる期となりました。その企画、努力、協力、友好、成果を目の当たりにするこの一年が私にとって3Eそのものでした。

年間を通して印象濃き例会、海外交流、メンバーシップの楽しみを味わいました。「Enjoy」ワイズ仲間であるが故の向上意識への熱き討論、思わぬ発見など多々ありました。「Excite」多くの新入会員と既存メンバーとのコラボから出てくる新しき方向性への思考。「Education」そしてその快挙が「最優秀クラブ賞」というワイズ暦に前例のないV2へとパレスクラブを導いてくれました。本当に嬉しく思います。

パレスクラブ全メンバーへ言葉にならない大きな誇りと敬意を惜しみなく表したいと思います。

“It goes on!” まだまだパレスクラブは弛むことなく進み続ける事でしょう。この一年、我々を支え全てのバックアップを全力投球頂いた部の役員の皆様にもこの場を借りて御礼申し上げます。親しく情報交換ができた同期会長さんに感謝いたします。

皆々さま、本当に一年間お世話になりました。ありがとうございました。



▷▷▷▷今 期 を 振 り 返 る◁◁◁◁



京都ウエストワイズメンズクラブ

会長 島田 博司

準備期間を入れまして約1年と3ヶ月余りの間、会長というクラブの代表というお役目をいただき、大変充実した1年を過ごさせていただきました。これほど1年を通じて自身のクラブ事業や京都部の行事に参加することは今までになく、やはり参加して初めて分かった楽しみや、喜びを感じることができました。そしてなによりメンバーの皆さんに参加していただけることの大切さ、ありがたさそしてみなさんに支えられて会長という役職が成り立っていることをひしひしと感じた…、そんな一年間でもありました。

1年前に私はLet's try! ～ウエストの未来をみんなの手で～ という会長標語をクラブのメンバーの皆さんに発表しました。東日本大震災で被災された方々に奉仕クラブとして今自分たちができることを考えて、それを継続して行いたいとの思いをクラブのメンバーで何度も話し合い、考え、そして実行に遷せたことはウエストクラブの1年の成果であり、その支援の資金をねん出するためにクラブが1つになったことに会長として誇らしく思えました。この先この支援活動は次期にも継続されさらにステップアップしてより良い事業にしていきたいと思います。

この1年何もわからない頼りない私みたいな会長を支え、成長させていただいたウエストクラブのメンバー、そしてワイズメンズクラブの皆様は心より感謝を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。



京都めいぷるワイズメンズクラブ

会長 柴田 信幸

『一所懸命』というクラブ主題を掲げキックオフ例会「サバエ開設準備ワーク」でスタートしたのがついこの間の事のように思える。時間の流れがとても速かった1年間を振り返り特筆する活動を挙げると、上半期は、東日本大震災の影響で中止（昨年4月開催予定）となった支援先である西陣会市民センターのイベントが9月に急遽開催され、今期としては予定外の事業であったがしっかりと支援できたこと。

下半期、まずは今年1月に開催された京都部CSチャリティボウリング大会のホスト。5か月前から委員会を立ち上げ準備を進めてきたがボウリング大会のホストは未経験な上、当日は240名を超える参加者となり大変緊張感のある現場となった。しかしメンバー一丸となり大会を無事終えることができた。これは新しいメンバーにとって良い経験であったしクラブにとっても収穫の多い事業であった。

3月にはIBC(台湾・韓国とのトライアングル)三国合同会議で台湾を訪問、会議に於いて三国合同奉仕資金(3000ドル)を東日本大震災の復興支援のためにと長春クラブ(台湾)から申し出があり文鶴クラブ(韓国)も快く承認いただき支援金を預かって帰国。これは前期に続くものでブラザークラブの海を越えての温かい支援に感謝すると共にワイズの絆の深さに感動を覚えた。

その他、挙げたい事柄は沢山あるが、最後に今期新たな試みとして支援先である積慶園の子供たちとプロバスケットボール観戦例会を開催した楽しい思い出も忘れることができない。

以上、会長というポジションに立たせてもらって視界が広がり沢山の経験と新たな発見ができた1年でした。関わっていただいた全ての皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



▷▷▷▷今 期 を 振 り 返 る◁◁◁◁



京都キャピタルワイズメンズクラブ

会長 八木 悠祐

キャピタルクラブの会長を拝命し、早くも1年が経とうとしています。全てのメン、メネット様の多大なる協力のもと、1年間の事業を終えることができ、ホッといたしております。

また、若輩で未熟な私に、会長という役職を与えていただいた、クラブの皆様の広い心に感謝いたします。この一年間、キャピタルクラブの本質やクラブ運営の仕方、どのようにクラブメンバーが満足できる環境を作れるかなど、今までの何倍も考えるようになりました。もちろん明確な答えなどは無いと思います。ただ考える中で、私自身がワイズメンとして成長できたのではないかと思います。

また会長会などで意見交換する中で、他クラブの事業のこと、運営の仕方、クラブポリシーなどを知ることができ、自クラブの活動のヒントになることもたくさんありました。本当にいろいろな経験をさせていただきました。この経験を次期以降のクラブライフに生かしてゆきたいと思います。

最後になりましたが、前部長はじめ京都部役員の皆様、主査の皆様、1年間京都部を引っ張っていただき本当に有難うございました。

【YMCAサービスユース委員会】

- ・ YMCA創立123周年記念集会・卒業リーダー祝会・東日本大震災復興支援ゴルフ
- ・ サバエ緑化ワーク・リトセン夜桜フェスタ・YYフォーラム参加・かもがわチャリティーラン

【地域奉仕・環境事業委員会】

- ・ CSチャリティボーリング大会・TOF例会・リトセンメタセコイヤフェスティバル

【交流事業委員会】

- ・ DBC交流

【ファンド委員会】

- ・ BF・EF・JWF・クラブ内ファンド

【広報ブリテン委員会】

- ・ 毎月のブリテン発行とホームページでの写真掲載

【EMC委員会】

- ・ 新メンバー歓迎会の実施
- ・ 入会マニュアルの改訂



京都プリンスワイズメンズクラブ

会長 岡西 博司

今期のスタートの時、僕はこんな事を考えていました。我クラブのメンバーが一つと成る為に、僕は出来るだけの事をやろう！そう心に決めて臨みました。

「東日本大震災の後、どう立ち直って行く事が出来るのだろうか？」

「原発事故をどのように乗り越える事が出来るのだろうか？」

「この日本、いったい何処に向かってゆくのだろうか？」

「こんな中、我プリンスクラブはどうなるのか？……」

分からない事だらけ、でも、やらなければならない事がありました。それは、プリンスクラブの25周年記念セレモニーである。えらい時に会長になったものだ。

どうせやるなら、悔いのないものをやろう。僕のワイズとしての25年間の集大成としてのセレモニーになるよう頑張ってみよう。但し、クラブメンバー全員の力が結集されてこそ、素晴らしいものになるんだ。だから全ての者が一つになる為に頑張るんだ。そんな決意をこの会長主題に込めてスタートをきりました。

今年のお正月には、本当に初めての書初めをさせて頂きました。僕の選んだ言葉は「為友」でした。自然にこの言葉が出てきました。本当に何のためらいも無く、為友でした。

今、この書初めは、会社の僕の机の後ろに掛かっています。皆様、僕たちの25周年記念例会は、どうでしたか？僕たちクラブのメンバーが一つとなった瞬間だったのではないのでしょうか。だからこそ、本当に多くの方々からお褒めの言葉を頂きました。決してお世辞ばかりではないと思っています。我々の意気込みが、形に成ったんだと思います。

これからが、僕たちにとって正念場であると思っています。出来るとか、出来ないという問題ではないのです。

やるか、やらないかの、どちらかなのです。みんな、プリンスクラブの夢を、実現したいものですね。



▷▷▷▷今 期 を 振 り 返 る◁◁◁◁



京都センチュリーワイズメンズクラブ

会長 駒谷 憲美

去年7月から会長職について、1年が経とうとしています。全ての事業が無事終わり、会長という大役が無事終えることが出来たのは、各事業委員長そしてメンバー、メネットのお陰だと感謝しております。

私の今期の会長主題として「5年後のセンチュリークラブのため一歩前進」という事を挙げさせていただきました。自分自身も今まで以上にワイズを中心に活動し、メンバー増強の為メンバー全員が意識し活動が出来たと思います。ただ残念なことはスタート時点と増減0という結果に終わったことです。来期も引き続きメンバー増強を一番に頑張っていきたいと反省しております。

クラブ活動として1月10日に半期総会、役員会、新年会を開催し下半期スタートとなりました。1月19日には、新春例会 部長公式訪問例会で恒例の新春（センチュリー寄席）では、落語家桂ぼんぼ娘師匠による初笑い、続いて前部長、伊藤 YMCA サービス・ユース主査、倉田広報事業主査の3名の方からお話をお伺いしました。

下半期のメイン事業として、クラブで初めて京都ゼミナールハウスで、EMC研修を兼ねてメンバー多数参加のもと一泊研修ができました。この研修により一層新規メンバーの増強が早急に必要なることを更に実感しました。2月以降の例会は例年どおり多彩な講師をお招きし楽しく開催しました。

最後に私が会長をさせて頂いた事でプラスに成ったことは沢山あります。その一つが会長会で他のクラブの会長さんと交流が持てたことです。この1年の経験を活かして人と人との繋がり大切さを再確認させて頂きました。1年間本当に有難うございました。



京都ウイングワイズメンズクラブ

会長 島本 浩晃

今から2年半ほど前、会長の指名をいただきました。当時の私はワイズやクラブから少し離れたスタンスをとっており、実際仕事の都合もあり6割程度しか例会に出席できない状況でした。そのような状況でしたので、とても会長を引き受ける心境にはならなかったのですが、会長選考委員会のメンバーの熱い説得をいただき今こうしてこの原稿を書いています。今は、やれば何とかなるんだというのが心境です。

今期の自分自身の目標は、今までのクラブ運営で増えてきたワーク、事業を整理し、クラブで活動するのに誰でも無理のないような状況にしたいということでした。クラブの中心となって活動するにはある程度ワークや事業に出席する必要があります。ただ他のクラブもそうなのでしょうが、当クラブでは特に夏から秋にかけてワイズの関係で毎週のように休日を使うことになります。また平日でも週に2日3日とクラブの会合等が入ります。ワイズに熱心なのはいいのですが、正直私は少し行き過ぎのように思います。少しでもそれを減らすことができないものかというのが私の思いでした。

しかし現実には、今までのつながりや、メンバーとの摩擦を避けてしまい、ほとんど実行することはできませんでした。1年間色々なことをそれなりにやってきましたが、そのことが今となっては悔いところです。まあ、そのおかげで無事に今を迎えているのかもしれませんが。



▷▷▷▷今 期 を 振 り 返 る◁◁◁◁



京都洛中ワイズメンズクラブ

会長 太田 雅彦

9年ぶり二度目の会長就任です。前回は、ある事情で急遽予定より1年早く私が務めることになり、事前の心得や動きが十分に出来なかったように思います。9年の間で書記や会計も経験したり、今回は1年以上前に決定があったりで、前回よりは増したのではないかと自問自答いたします。事業に関して、ここでは下半期についての要約を以下に記述いたします。

【1月】▶新年WRM3クラブ合同例会（ウエスト・洛中・みやび）今年のホストはウエストクラブ、全員仮装しての参加 ▶京都部ボーリング大会、つばさ園のこどもたちを招待 【2月】▶通常例会 ゲストスピーカー 八木健吉氏を招いて「近代京都の”さきがけ”を探る」を勉強 ▶TOF例会、次期について意見交換 【3月】▶役員会例会（於・居酒屋 Ken蔵）新たな懇親を深める ▶みやびクラブとの合同例会、「茶香服（ちゃかぶき）」を楽しむ 【4月】▶通常例会 ゲストスピーカー 詩画集作家 山崎昌伸氏を招いて「人生 いつもこれから これから」を勉強 ▶YY フォーラム・夜桜フェスタ、ポップコーンを出店 【5月】▶嵐山クリーン作戦、つばさ園のこどもたちも参加、お昼弁当を一緒に楽しむ ▶かもがわチャリティーラン、ポップコーン出店とゴミ箱の後片付け担当、天候に恵まれ最高 ▶通常例会、次期事業計画検討 【6月】▶西日本区大会（長浜） ▶引継ファミリー例会

以上のように関係者全ての皆様のご協力の御陰で、計画通りに実行することができました。ほんとうにありがとうございました。ところで、主題・方針は、「理想主義者へ 自然体で」「なせばなるチョットやってみましょうよ」「熟（コナ）しながら、つぎへの仕込みを確実に」でした。何点かな～。



京都エイブルワイズメンズクラブ

会長 梅谷 隆雄

【1/7】517 回第一例会 新年例会 パルティール京都 【1/24】518 回第二例会 半期総会 TOF 例会 槇島コミセン 【2/14】519 回第一例会 ゲストスピーカー例会 お茶と歌と人 阪本博司氏 パルティール京都 【2/25】520 回第二例会 設立記念例会 ボーリング大会 宇治アルプラザ【3/17】521 回第一例会 CATT 合同例会 ウェスティン都 【3/27】522 回第二例会 ゲストスピーカー例会 フェイスBOOK 勉強 伊藤剛氏 パルティール京都 【4/10】523 回第一例会 メンバースピーチ例会 パルティール京都 【4/21】524 回第二例会 夜桜フェスタ リトリートセンター 【5/3】525 回第一例会 ゲストスピーカー 熱中症予防 大塚製薬 田中和佳氏 パルティール京都 【5/27】526 回第二例会 こもればヤアヤアフェスタ 宇治中学校 【6/2・3】527 回第一例会 東日本区大会 神奈川県伊東市 【6/23】528 回第二例会 引継例会 パルティール京都

一年が瞬く間に過ぎ、去年の一月ごろから描いていたクラブ運営、ビジョンなど思い返せる時期となりました。今となって、クラブ運営、ビジョンなどが上手くいったのかと思うと、思い残すことは多々ありますが、クラブ内での一時代を全うできたと言う思いが湧いてきます。会長となり、他クラブ会長との交流が多くなり、自分自身の視野の広がりが感じられた一年間を過ごすことができました。

最後にクラブ会長、並びに、ワイズメンの皆様、私事でご心配、ご迷惑をお掛けしましたことをお詫び申し上げます



▷▷▷▷今 期 を 振 り 返 る◁◁◁◁



京都グローバルワイズメンズクラブ

会長 中島 勝

会長主題に『今、一人ひとりの瞳を輝かせよう！』を掲げさせて頂いた一年間があったと言う間に終わりました。

今期の始まりに私はグローバルクラブが来期20周年を迎えるに当たって、奉仕クラブとしての在り方を今一度点検をして行きたい、そのためにはグローバルクラブのメンバーお一人おひとりが積極的にクラブ事業に関わって頂きたいとお願いをしました。お蔭さまで、今期は6名の新しい仲間を迎える事が出来、メンバー数も60名を超える事になりました。YMCAリトセンのワーク・サポートしております修光学園様をお招きしての「ふれあい例会」・全国車いす駅伝大会のサポート・かもがわチャリティーラン等色々な事業に関わらせて頂いて、自分自身大きな気付きを得る事が出来ました。

今期のDBC・IBCは、熊本クラブ様への訪問・台中エバフロッククラブ様への「20周年記念例会」への訪問という「行く行く」となり、大いにお互いの友情を深める事が出来ました。残念だったのは、「東日本大震災」後の現地でのボランティア活動を経験出来なかった事です。

先日、滋賀県長浜市で開催されました「第15回西日本区大会」では、理事表彰で、栄えある「優秀クラブ賞」を頂く事が出来ました。本当に素晴らしい仲間にも恵まれ、グローバルクラブのメンバーお一人おひとりが瞳を輝かせてくれたお蔭であると感謝申し上げます。グローバルクラブは来期20周年を迎えます。ぜひこれからも我がグローバルクラブに対しまして、温かい眼で見守って頂きますようよろしくお願い致します。



京都みやびワイズメンズクラブ

会長 武本 聡

- 【1月】7日3クラブ合同新年例会（ウエスト・洛中）、27日EMCシンポジウム、29日チャリティーボーリング大会参加
- 【2月】14日部長公式訪問随同行、15日TOF例会、25日プリンスクラブ25周年記念例会、鴨川を美しくする会総会
- 【3月】10日発達障がい児理解セミナー、11日リーダー卒業祝会、21日洛中クラブ合同例会（茶かぶき）、24日熊本むさしクラブ15周年記念例会
- 【4月】14・15日鴨川茶店、14・15日遙学園桜バザー、15日東稜クラブ記念例会、18日総会、21日YYフォーラム・夜桜フェスタ、22日パレスクラブ40+1記念例会
- 【5月】6日サバエワーク、11日部交流懇談会、16日例会（講師）、20日第8回チャリティーラン
- 【6月】9・10日第15回西日本区大会、20日引継例会

今期、会長を任されて一番思ったことは、メンバーが多ければ多いほどいいなと言うことをつくづくと思い知らされた一年でした。今期みやびクラブから、前部長並びにベテランメンバーを部へ輩出したことによって、すべてのメンバーに何らかの形で負担が掛かってしまったのではないかと思います。私の力では、それを軽減させることはできませんでした。それどころかもっと周りに負担を掛けたと思います。今期いろいろとご負担をかけた分、次期はその経験を生かして良い方向へ向くように尽力する所存です。今期一年支えて頂き、誠にありがとうございました。



▷▷▷▷今 期 を 振 り 返 る◁◁◁◁



京都トップスワイズメンズクラブ

会長 東田 吉末

今期の私達トップスクラブは、次期に京都部部長やCS主任、メネット主査の輩出及び部会のホスト役と言う重責の中、ベテランメンバーの活躍がキラリと輝いていました。経験や知識に勝るベテランメンバーは、最近のEMCBigWaveで増えた若いメンバーの影と成り日向と成り上手く導いて下さいました。それはまるでトップスクラブのコマの意味そのものでした。

活動の方で、まず最初にお知らせしたいのは、3度あった東日本震災復興ボランティアに10名以上の参加、昨年のメネット事業で顕著になった豊島 神愛館にもワークに出かけました。沢山の悲しみや沢山の希望がありました。これからもこの活動が無くなる事無く、良い行いとして響き渡れば良いなと思っております。

そして、例年行っている事業にも変化が見られました。日頃より私は、クラブは一部のメンバーだけのものだけではなく、若いメンバーや家族にまで楽しんで頂きたいと申しております。その気持ちをくみ取ってくれたのかわかりませんが、オプションの回を重ねる度に参加人数が増えて行きその中にメネットやコメントの姿も見られるようになってきました。

最後の西日本区大会には、70%以上の参加者があり、会長としてうれしき満開でした。今期の主題“ONE STEP BEYOND!” “一歩踏み出す”とか“遙か彼方へ”という意味が有ります。まさしくチャレンジャーとしていつもの事も、新しい事も、一歩踏み出せたと思います。そして副題の“Road to top of tops” 最高の中の最高への道! 私達トップスクラブは、常にトップを目指します。それは、形だけではなく、質にも人数にもこだわって行きます。一枚岩で常に真剣でそして面白く楽しすぎるこのトップスクラブ会長であったことを私は誇りに思います。ありがとうございました。



京都トゥービーワイズメンズクラブ

会長 石井 康史

16期会長を拝命して、やっと1年無事に終わられそうです。準備段階からすると1年半以上個人的にも体力が続くか不安でしたが、何とかメンバーの皆様の温かい気持ちとご支援によりまして会長職を全うできたのだと思います。この場をお借りして感謝申し上げます。

さて、今期はみんなが幸せに成っていただけるようにと「笑門来福」を会長主題として掲げてまいりました。また、～クラブライフを楽しみましょう～と持ちかけると、メンバー同士が刺激し合え、積極的に行動して、定例オリエンテーション(パレスクラブさんにはお世話になりました)や、EMCに繋がる講師による講演例会、9月第二例会ではNGO「イラクの子どもを救う会」代表 西谷文和氏を迎えアフガニスタン、イラク、リビアそしてフクシマーあらたな被曝者を生まないために私たちができることーや 今話題の山本太郎氏を迎えての原発に関する講演など(例会24回中10例会)などによりまして、今期6名の新入会員を迎えることができました。

前期 ZERO クラブをチャーターしてから、少しクラブの体力が落ち込みがちだったトゥービーにとっては大変刺激があったように思えます。

Yサ事業、CS事業に関しては従来の事業を継続してゆきましたが、東日本大震災によって、京都に避難されている福島の方々をリトリートセンターにお招きして芋煮会を行なったことや、リトセンの前期完成したウッドデッキ前に階段観客席を作ったのは新しい試みでした。

交流ではDBCを中心に大阪なかのしまクラブ15周年、熊本ジェーンズクラブ25周年と周年事業をきっかけに中身の濃い交流が行われました。IBCではタイの洪水のお見舞いメール、IBCの安東クラブメンバーのドゥさんが次の総裁(理事)に就任されましたが、各種行事が重なり、電報でのお祝いとなりました。

ブリテン広報では、読みやすさもさることながら、投稿するブリテン年12回発行し、期首より京都部も推奨されているフェイスブックのクラブページを立ち上げました。

このように、少しずつの盛り上がりではありますが、次期に良い形で引継ぎができれば良いと思っております。



▷▷▷▷今 期 を 振 り 返 る◁◁◁◁



京都東稜ワイズメンズクラブ

会長 近藤 勉

ようやく会長職をさせていただいた一年が終わろうとしています。振り返ってみれば、あっと言う間の一年間でした。

多くの皆様方にご迷惑をお掛けした一年間でしたが、クラブメンバーに支えられ、他クラブの皆様に応えられ、東稜クラブを取り巻く多くの皆様方に助けられて、何とか一年を終えることとなりそうです。本当に感謝、感謝の一年でした。

YMCAサービス事業に協力した場面で起こった予期せぬハプニングもクラブメンバーの経験と努力で助けられ、クラブファンドも予想を上回る成果に感謝いたします。地域奉仕活動の祇園祭ゴミ分別ボランティアへは、多くの他クラブメンバーの皆様にご協力いただきました。毎月の地域清掃活動やてんとう虫マラソン大会の協力活動など、地域や他団体の方達との交流もありました。

また、ドライバー事業については、講師選定から設営・運営にいたるまでしっかりと取り組んでいただきました。また、今期は、クラブメンバー全員が他クラブの例会に参加させていただき、色々と多くの事を学び、交流を行いました。EMCについては、残念ながら増強目標クリアとはいきませんでしたが、例会に多くのゲスト参加者を招くことができ、次期に繋がる取り組みであったと考えています。

本当に一年間、私を、東稜クラブを支えてくださった皆様方に感謝いたします。

ありがとうございました。



京都ウェルワイズメンズクラブ

会長 松田 博一

早いもので、2度目の会長も終わりを迎えようとしています。弱小クラブのメリットか、それともデメリットかわかりませんが、この短いワイズ歴の中で2度も会長を経験でき、個人的には大変よい経験をさせて頂いています。しかし、そのようなことは言うてはいられないのが、本当のところですよ。

少ないメンバーではありますが、本来のワイズメン活動を堅実におこなおうと言うのが今期のテーマでした。月2回の例会、三役会や役員会の定例化、委員会活動への参加等、親クラブでプリンスクラブのご支援なくしては叶わないものでありました。親にとっては、本当に手のかかる子供であったと思います。プリンスクラブには、心よりお礼を申し上げます。

活動面では、YMCAサービスを中心に、思う通りの活動ができたのではないのでしょうか。クラブの規模が小さいという面を除いて、存在感も示すことができたのではないのでしょうか。反面、地域奉仕など、ウェルクラブ独自の取り組みは、十分とはいえないのが正直な感想です。他のクラブが活動されているような、何か核となる取り組みが早急に求められているように思います。

次期への引継ぎとしては、まず新メンバーの確保。これは言うまでも無いでしょう。そのために、引き続き堅実な活動を通して、メンバー相互の親睦や自己研鑽、核となる活動の確立を目指して欲しいものです。これからも、模索が続いていくとは思いますが、全員一致団結して頑張りたいと思います。どうか皆様よろしくお願い申し上げます。

一年間、本当にありがとうございました。



▷▷▷▷今 期 を 振 り 返 る◁◁◁◁

リトセン夜桜フェスタ 2012. 4. 21



京都 ZERO ワイズメンズクラブ

会長 高倉 英理

1月: 12日ウイング・TOBE・ZERO 合同新年例会2名入会式、
26日TOF・半期総会、29日チャリティボウリング9名参加
2月: 3日EMC ハッピーアワー、9日講師例会「空手の極意」
1名入会式、19日車いす駅伝6名参加、23日講師例会「風呂敷の結び方」
3月: 8日講師例会「その一言があなたを変える」、22日講師例会「感謝はがきのススメ」
4月: 12日講師例会「和柄が世界のデザインシーンを変える」、
14日EMC お花見ハッピーアワー、21日「夜桜フェスタ」石窯でピザを提供、26日メンバースピーチ例会
5月: 10日メンバースピーチ例会、20日「チャリティラン」
おにぎりとおみそ汁200食提供、26日ファンD・EMC 例会 (TOBE 合同) 「Y's スクエアパーティー」約120人の参加
6月: 西日本区大会7名参加、14日クッキング例会、24日引継例会、26日EMC ハッピーアワー

下半期は上記の活動に加え、リトセンの石窯・おくどさんの煙突・照明の完成、東京 YMCA 石巻支援センターと協働し石巻市立蛇田小学校へ防災ずきん150枚を送りました。

またクラブ内の結束がより固まった一年となったと思います。思うようにならないことも多々ありましたが、メンバーに支えられ、またたくさんのワイズメンに励まされ、2年

間の長き会長を何とかつとめることが出来ました。本当にありがとうございました。



第8回かもがわチャリティーラン 2012. 5. 20



第4回評議会 2012. 6. 24



(※京都部第3回評議会以降の一部写真掲載)

Y's SQUARE PARTY
at Garden of Fine Art, KYOTO
2012.05.26 SAT 7PM START

京都のワイズメンズクラブ「トゥーピークラブ」と「ZEROクラブ」は合同で「Y's スクエアパーティー」を北山で開催いたします。収益は、地域奉仕やYMCAを通じ社会に役立つ事業の資金とさせていただきます。

日 時: 2012年5月26日(土) 午後8:30 開演7:30〜終了11:00 京都300円付

会 場: 京都府立陶芸美術館 (http://www.kyoto-toban-ho.or.jp/ 〒605-0823 京都市左京区下鴨(鴨川土井)京都市立陶芸美術館(北山門前)) TEL:075-724-2188 地下鉄烏丸線北山駅3番出口徒歩1分

内 容: ワイング(A&C&K)、B&V(ローマ・HANDOUT)、焼酎(和すま)、吹奏・ダンス・歌謡ショー

入場料: 無料 ※ただし、飲食料金は別料金となります。

集 計: 京都YMCA協賛施設

主 催: 京都トゥーピーワイズメンズクラブ・京都ZEROワイズメンズクラブ

お問合せ先: 吉田直樹 090-9694-0291
電話 090-4490-3854

交通: 西門前駅より徒歩1分

第16期 京都部 決算

2011.07.01～2012.06.30

収入の部

単位: 円

科 目	第15期決算	当期予算額	当期決算額	備 考
部費	1,320,000	1,380,000	1,404,000	前期460人, 後期476人(連絡主事除く)
部活動援助金1	100,000	100,000	100,000	西日本区より部一律
部活動援助金2	88,200	92,000	92,000	部メンバー1人当り¥200×460人
西日本区ファンド収益	0	0		
利息	196	0	205	
単年度収入小計	1,508,396	1,572,000	1,596,205	
前期繰越金	787,256	606,510	606,510	
合計	2,295,652	2,178,510	2,202,715	

支出の部

単位: 円

科 目	第15期決算	当期予算額	当期決算額	
事業費	140,000	140,000	140,000	主査活動費@ ¥20,000×7事業
部事業費	408,141	495,000	377,215	
会議費	120,325	125,000	56,650	役員会・評議会・三役会会場費等
印刷費	274,681	184,000	198,253	部報・会議資料等
部会補助費	423,510	477,000	477,000	@1,000×477人(連絡主事含む)
研修費	221,000	238,000	238,000	研修会登録費
通信費	36,141	41,000	38,683	郵便・電話・部ホームページ維持費
事務費	12,615	30,000	36,420	のぼり
慶弔費	32,729	20,000	14,374	
公式ビクター受入費	20,000	20,000	20,730	
単年度支出小計	1,689,142	1,770,000	1,597,325	
次期繰越金	606,510	408,510	605,390	
合計	2,295,652	2,178,510	2,202,715	

特別会計収入の部

単位: 円

科 目	第15期決算	当期予算額	当期決算額	備 考
前期繰越金	150,958	150,958	150,958	
一般会計より	200,000	200,000	200,000	リーダー海外派遣支援金
合計	350,958	350,958	350,958	

特別会計支出の部

単位: 円

科 目	第15期決算	当期予算額	当期決算額	備 考
リーダー海外派遣支援金	200,000	200,000	200,000	
YC支援金			100,000	50,000円×2人
次期繰越金	150,958	150,958	50,958	
合計	350,958	350,958	350,958	

以上の通りご報告申し上げます。

2012年7月5日

第16期 (2011年～2012年度) 京都部会計 岡崎 保則 ㊞

上記報告書に基づき、監査を実施しました所、適正に処理されていたことをご報告申し上げます。

2012年7月10日

第16期 (2011年～2012年度) 京都部監事 山中 将平 ㊞

第16期 京都部 決算支出の部

2011.07.01～2012.06.30

単位:円

科 目	細 目	16期決算額	備 考
事業費	Yサ・ユース事業	20,000	各事業運営費・資料・通信等
	EMC事業	20,000	
	地域奉仕事業	20,000	
	ファンド事業	20,000	
	交流事業	20,000	
	広報事業	20,000	
	メネット事業	20,000	
小計		140,000	
部事業費	YYフォーラム	0	50,000 費用 西日本区補助 50,000
	CSチャリティーポーリング	50,000	
	事業懇親会	24,000	5,000×7事業
	国際協力募金支援	0	参加リーダー交通費等
	ワイズデー事業	50,900	
	予備費	0	
	合同メネット会関連	52,315	会場費含む
	特別会計へ	200,000	リーダー海外研修派遣支援
小計		377,215	
会議費	役員会	30,000	三条YMCA教室 ¥3,000×10
	次期役員会	12,000	三条YMCA教室 ¥3,000×4
	評議会	14,650	三条YMCAマナホール×1 福知山会議室×1 リトセン×1
	三役会		
小計		56,650	
印刷費	部報	126,000	印刷1報+ホームページ2報
	会議資料	72,253	
小計		198,253	
部会補助費	京都部部会補助	477,000	@1,000 ×477人(連絡主事含む)
研修費	部長	17,000	1月次期役員研修会
	次期部長	34,000	1月次期役員研修会 3月次期会長主査研修会
	次期主査	119,000	3月次期会長主査研修会 7名
	次期三役	68,000	1月次期役員研修会4名
小計		238,000	
通信費	郵便・電話・振込手数料等	4,842	
	部ホームページ関係	33,841	
小計		38,683	
事務費	備品	36,420	
慶弔費		14,374	
公式ビジター受入費		20,730	西日本区補助 10,000
支出合計		1,597,325	

特別会計支出の部

単位:円

科 目	細 目	16期決算額	備 考
リーダー海外派遣支援金		200,000	
YC支援金		100,000	
予備費		50,958	
合計		350,958	

京都部第 16 期 (11～12 年度) 部関連の主な行事報告

2011年

5月20日	金	Yサユース事業懇談会
6月03日	金	役員会 (現・次期合同)
19日	日	第1回 評議会
26日	日	リトセン夏季準備ワーク
7月 1日	金	第1回 役員会
3日	日	第1回サバエキャンプ場ワーク
8日	金	ファンド事業 懇談会
10日	日	第2回サバエキャンプ場ワーク
15日	金	～17日東日本大震災ボランティア派遣第1回
16日	土	～17日 第1回 区 役員会
19日	火	公式訪問 京都キャピタルクラブ
22日	金	メネット事業引継会
29日	金	EMC事業 懇談会
31日	日	震災支援プロジェクト(乾電池収集)
8月5日	金	第2回 役員会
7日	日	東日本震災被災者支援ファミリーキャンプ
10日	水	公式訪問 京都トゥービークラブ
17日	水	公式訪問 京都グローバルクラブ
18日	木	公式訪問 京都ウィングクラブ
22日	月	公式訪問 京都めいぷるクラブ
24日	水	公式訪問 京都パレスクラブ
27日	土	地域奉仕・環境事業懇談会
31日	水	部報 第1号発行 (ホームページ)
9月2日	金	第3回 役員会
4日	日	リトセン秋季ワーク
9日	金	交流事業懇談会 第1回
11日	日	第2回 評議会
	〃	第16回 京都部部会
13日	火	公式訪問 京都クラブ
14日	水	公式訪問 京都トップスクラブ
16日	金	～19日東日本大震災ボランティア派遣第2回
	〃	広報事業懇談会
22日	木	公式訪問 京都洛中・みやびクラブ
10月1日	土	～2日AIDS文化フォーラムin京都
5日	水	公式訪問 京都プリンス・ウエルクラブ
7日	金	第4回 役員会
9日	日	合同メネット会
13日	木	公式訪問 京都東稜クラブ
25日	火	公式訪問 京都エイブルクラブ
11月4日	金	第5回 役員会
6日	日	ワイズデー 国際協力募金
10日	木	公式訪問 京都 ZERO クラブ

19日	土	～20日 第2回 区 役員会
23日	祝	リトセンオータムフェスタ
24日	木	公式訪問 京都ウエストクラブ

12月2日	金	～5日東日本大震災ボランティア派遣第3回
	〃	第6回 役員会
9日	金	広報 IT 勉強会 第1回
12日	月	～16日 クリスマスビーコンサート
16日	金	クリスマスキャロリング

2012年

1月 6日	金	第7回 役員会
19日	木	公式訪問 京都センチュリークラブ
27日	金	EMC シンポジウム
29日	日	CS チャリティーボーリング大会
2月 3日	金	第8回 役員会
12日	日	第3回 評議会
14日	火	公式訪問 福知山クラブ
15日	水	第21回クラシックコンサート
19日	日	全国車椅子駅伝 介助
25日	土	京都プリンスクラブ 25 周年記念例会
29日	水	部報 第2号発行

3月 2日	金	第9回 役員会
10日	土	～11日 次期会長主査研修会
18日	日	東日本震災復興チャリティーゴルフ
4月 6日	金	第10回 役員会
14日	土	京都クラブIBC締結30周年記念例会
14日	土	～15日 第3回 区 役員会
21日	土	YY フォーラム・夜桜フェスタ
22日	日	京都パレスクラブ 40+1 記念例会
27日	金	広報 IT 勉強会 第2回

5月 4日	金	第11回 役員会
11日	金	交流事業懇談会 第2回
20日	日	第8回かもがわチャリティーラン
6月 1日	金	第12回 役員会 (現・次期合同)
9日	土	第4回 区 役員会・代議員会
	〃	～10日 第15回西日本区大会
11日	月	～13日 BF 代表受入れ
24日	日	第4回 評議会
7月 中		部報 第3号発行 (ホームページ)



ワイズメンズクラブ国際協会
西日本区

第17回
京都部部会のお誘い

Enjoy! Kyoto

2012.9.9 (日) ￥10,000

登録受付 14:00 開会 15:00

ウェスティン都ホテル京都 西館4F 瑞穂の間

第1部 式典 15:00～

第2部 嘉門達夫の
元気が出るライヴ 17:00～

第3部 懇親会 18:00～



嘉門 達夫



ホストクラブ 京都トップスワイズメンズクラブ